

「西の浜海岸はごみ箱じゃない！」渥美半島の海岸で清掃 環境ボランティアサークル「亀の子隊」 | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム Ab キーワード検索 🔍

知 ベ ポ 組
 ら ン ー 情
 せ ト ト 報

レポート 2024.03.13

「西の浜海岸はごみ箱じゃない！」渥美半島の海岸で清掃 環境ボランティアサークル「亀の子隊」

アーカイブ



三河湾や伊勢湾などに囲まれた愛知県。海と野山と都市のバランスよい構成が特色です。養殖など沿岸漁業がさかんで、特にあさり類、くるまえびは全国でも有数の漁獲量を誇ります。

「海と日本プロジェクトin愛知県」ではこのような愛知の海の豊かさや多様性を伝えることで皆さんに興味を持ってもらい、海と共生するムーブメントを起こすことを目的に活動しています。



愛知県田原市・渥美半島にある西の浜海岸では毎月、環境ボランティアサークル「亀の子隊」が海岸を清掃しています。2月は「亀の子隊」のほかに、地元ボランティアや企業の人たちなど約60人が参加。“海への感謝”を込めて、海岸に流れ着いたごみを拾いました。

Pick up



おやつ感覚で食...

「西の浜海岸はごみ箱じゃない！」渥美半島の海岸で清掃 環境ボランティアサークル「亀の子隊」 | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報



今回は、西の浜海岸の清掃活動に参加した2人の海のキッズサポーター・稲田莞爾さんと堤清策さんを紹介します。豊橋市に住む稲田莞爾（かんじ）さんは、ボランティア歴約5年。ごみ拾いに参加した理由を聞くと「ごみのない、きれいな町にしたい」と真摯に語ります。

海のキッズサポーター・稲田莞爾さん（中学1年生）：

「僕は自然が大好きです。海も山も！でも海岸に行くとごみがいっぱい落ちていて、とても残念です。ごみのないきれいな町にしたい、未来にきれいな海を残したい。それが僕の願いです」

西の浜海岸には年間約3800キログラムのごみが打ち上げられる

おすすめタグ

- 海と日本プロジェクト
- SDGs
- 海と日本愛知
- 蒲郡市
- テレビ愛知
- 自由研究
- 海と日本愛知2022
- 海と日本プロジェクト愛知
- 海と日本
- ごみ拾い

「西の浜海岸はごみ箱じゃない！」渥美半島の海岸で清掃 環境ボランティアサークル「亀の子隊」 | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報
- 検索



2026.04.03

世界初！複数の無人運航船を陸上から同時に支援 | 日本財団「MEGURI2040」が加速させる海運DXと社会実装の最前線

西の浜海岸に打ち上げられるごみは、名古屋はもとより、遠くは岐阜県や三重県からも流れてきます。年間のごみの量は約3800キログラムにも及ぶそうです。

亀の子隊 代表 鈴木吉春さん：

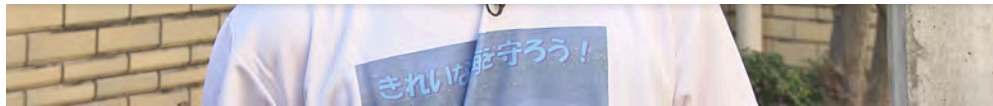
「毎月ごみ拾いをしていますが、何度拾っても西の浜のごみはなくなりません。もっともっと地元の人たちが自分たちの海を大切に思い、参加してくれる人が増えてほしいです」

「亀の子隊の海への思い」を発表

「西の浜海岸はごみ箱じゃない！」渥美半島の海岸で清掃 環境ボランティアサークル「亀の子隊」 | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報



もう1人の海のキッズサポーターは、亀の子隊に入ってから1年になる名古屋市に住む堤清策（しんさく）さんです。2024年2月に行われた「東三河ボランティア集会」で「亀の子隊の海への思い」を発表しました。

海のキッズサポーター・堤清策さん（中学1年生）：

「今後もごみ拾いを続けて、海の生き物が人間の出したごみで死んでしまうようなことがなくなるまでやってみたいです」

海のキッズサポーターの稲田さんと堤さん、2人の海への思いはきっと届くと思います！ これからもきれいな海を守ってくださいね。

＼ 記事をシェアしよう ／

Facebook

X

LINE

ニュースを共有

関連リンク

「西の浜海岸はごみ箱じゃない！」渥美半島の海岸で清掃 環境ボランティアサークル「亀の子隊」 | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報



賀島につたわる「たこあみだ地蔵」完成！小学校で上映会